

P2

国際育成会連盟は、知的障害のある人たちとその家族の為の世界的なネットワークです。

構成員は、知的障害のあるご本人たちと家族です。

私たちの会員は、知的障害のある人たちがより地域の一員として生活する世界を目指す団体と個人です。

P3

知的障害のある人たちを社会の一員とするために国が何をすべきをについての報告書です。

コロナ禍で、何が問題であったのかを、この報告書で学ぶことができます。また、国が、別に何をすべきなのかも学ぶことができます。

本人たちは、この報告書を、それぞれの国に見せて、行動を起こしてもらうようにお願いします。

P4

はじめに

新型コロナウイルスは、世界中の多くの人たちに影響を与えた健康の問題です。

COVID-19 は、コロナウイルスとも呼ばれています。

黄色に塗ってある単語は、理解するのが難しい言葉です。黄色に塗ってある単語をクリックするとその意味が説明されます。

政府（行政）は、新型コロナウイルスの感染を止めるためにそれぞれの国で、新しいルールを作りました。

これらの新しいルールは、知的障害のある人たちとその家族の生活を一変させ

ました。

P5

新型コロナウイルスにより、知的障害のある人とその家族の生活は、さまざまな方法があります。

コロナウィルスに感染してしまった人

学校閉鎖により、学生たちは学ぶことができなくなりました。

例えばグループホームやケアホームなどの入所施設で生活する人たちは、家族に会えなくなりました。

P6

仕事を失った人たち

通所施設などのサービスも、閉鎖されました。

知的障害のある何人かの人達は、健康管理を受けることができなくなりました。

人々は、隔離と孤独を感じています。

P7

行政が付か売った新しいルールは、大抵の場合、知的障害のある人たちやその家族を頭に置いていません。

P8

国際育成会連盟の会員の団体に対して、それぞれの国の新しいルールは障害のある人たちに対して、地域の一員として受け入れているものかを聞いた。

私たちの会員からは、それぞれの国のルールにおいて、知的障害のある人たちは社会の一員として受け入れられていないと答えています。

国際育成会連盟の会員は、それぞれの国で、知的障害のある人たちが社会の一員となるように権利擁護の活動をしています。

行政は、それぞれの国で、新型コロナウイルス後に、どのように復興するかの計画を立てています。

彼らは、新型コロナウイルスが原因の課題を修正したいと思っています。

P9

この計画は、「building back better」と呼ばれています。

「Building back better」は、新型コロナウイルス前の状況よりも、行政は、さまざまな点で、より良くしなければいけないという意味です。

P10

知的障害のある人たちとその家族に、新型コロナウイルスの影響で起こった課題についての報告書です。

異なる8つの項目があります。

全ての報告書を読むこともできますし、どれか一つだけの項目をクリックして、その項目のみを読むことができます。

情報提供と情報収集

支援やサービスの利用の仕方

健康管理についての利用方法

家族支援

入所施設

社会的保護

教育

雇用